

プラウド弦巻パサージュ駐車場区画図

【前列】

【左側】

【右側】

	①	②		③	④
地上1段	1	2		3	
地下1段	7	8		9	
地下2段	13	14		15	19

【後列】

【左側】

【右側】

	①	②		③	④
地上1段	4	5		6	
地下1段	10	11		12	
地下2段	16	17		18	20

**パレットの側面にタイヤを
接触させないようにご注意ください。
センサー故障の原因になります。**



プラウド弦巻パサーージュ管理組合

DAIKIN

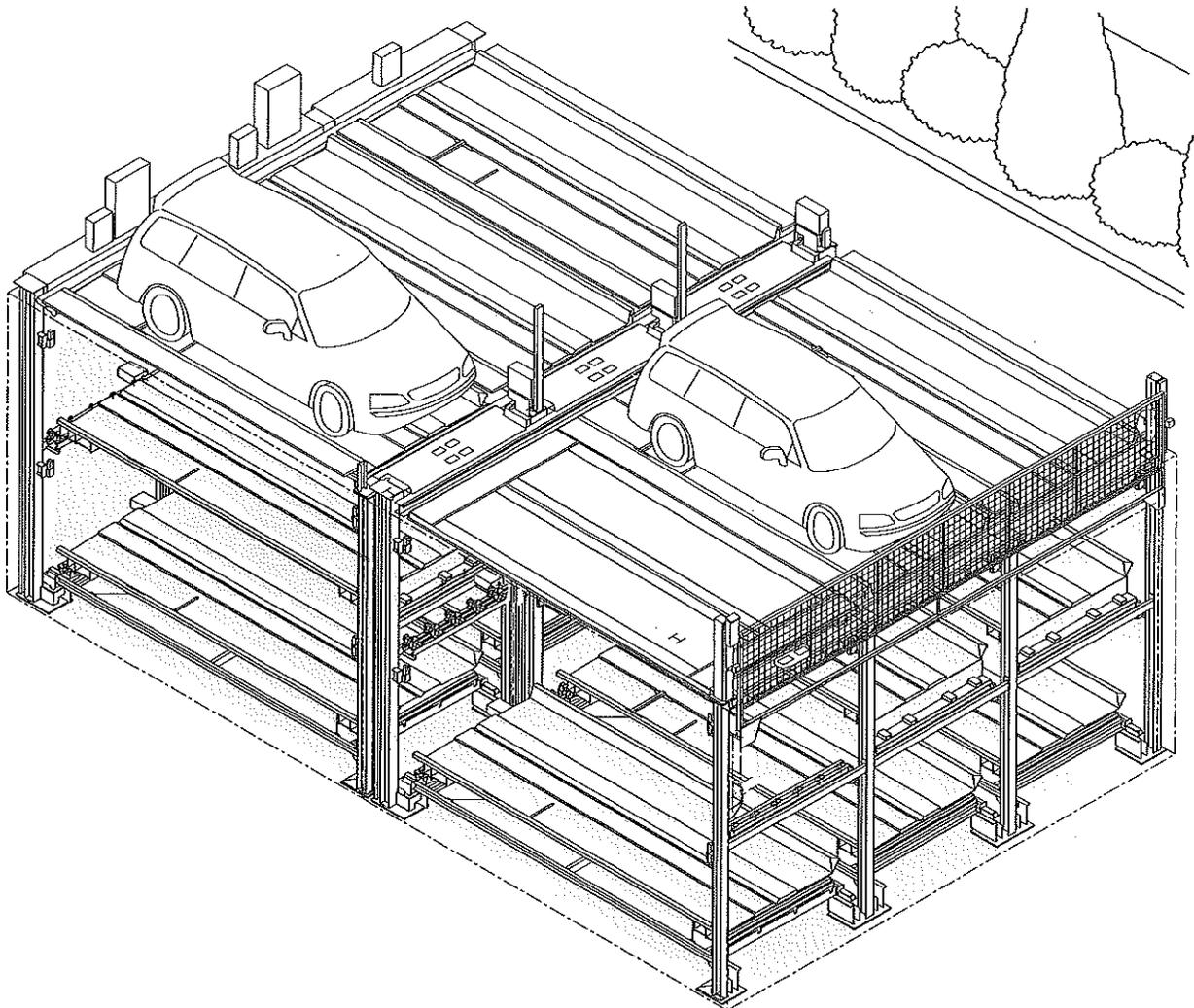
ダイキンパーキングシステム

DAIKIN PARKING SYSTEM

サーチェスパーク

地上1段地下2段昇降横行式縦列式
(J12A)

取扱説明書



目次

●外観図P.1
●各部の名称と働きP.2
●収容可能車の仕様P.3
●車止め位置変更のしかたP.5
●ご使用上の注意	
(1)車の入庫前にP.6
(2)車を入出庫するときP.7
(3)装置を操作するときP.9
安全にご使用いただくためにP.11
●操作盤P.15
(各スイッチの説明)	
●操作手順P.16
●トラブル状況と対処方法P.17
●日常点検P.20
●保証P.20
●緊急連絡先P.20

はじめに

ダイキンパーキングシステムをいつまでも安心してご使用いただくためにこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

また、当説明書はいつでも使用できるよう大切に保管しておいてください。

必ず守ってください

(安全にご使用いただくために)

この取扱説明書では、誤った取扱いによる事故を未然に防ぐための注意事項を、次のマークをつけて表示しています。



警告

取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性があることがらを表示しています。



注意

取扱いを誤った場合、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性があることがらを表示しています。

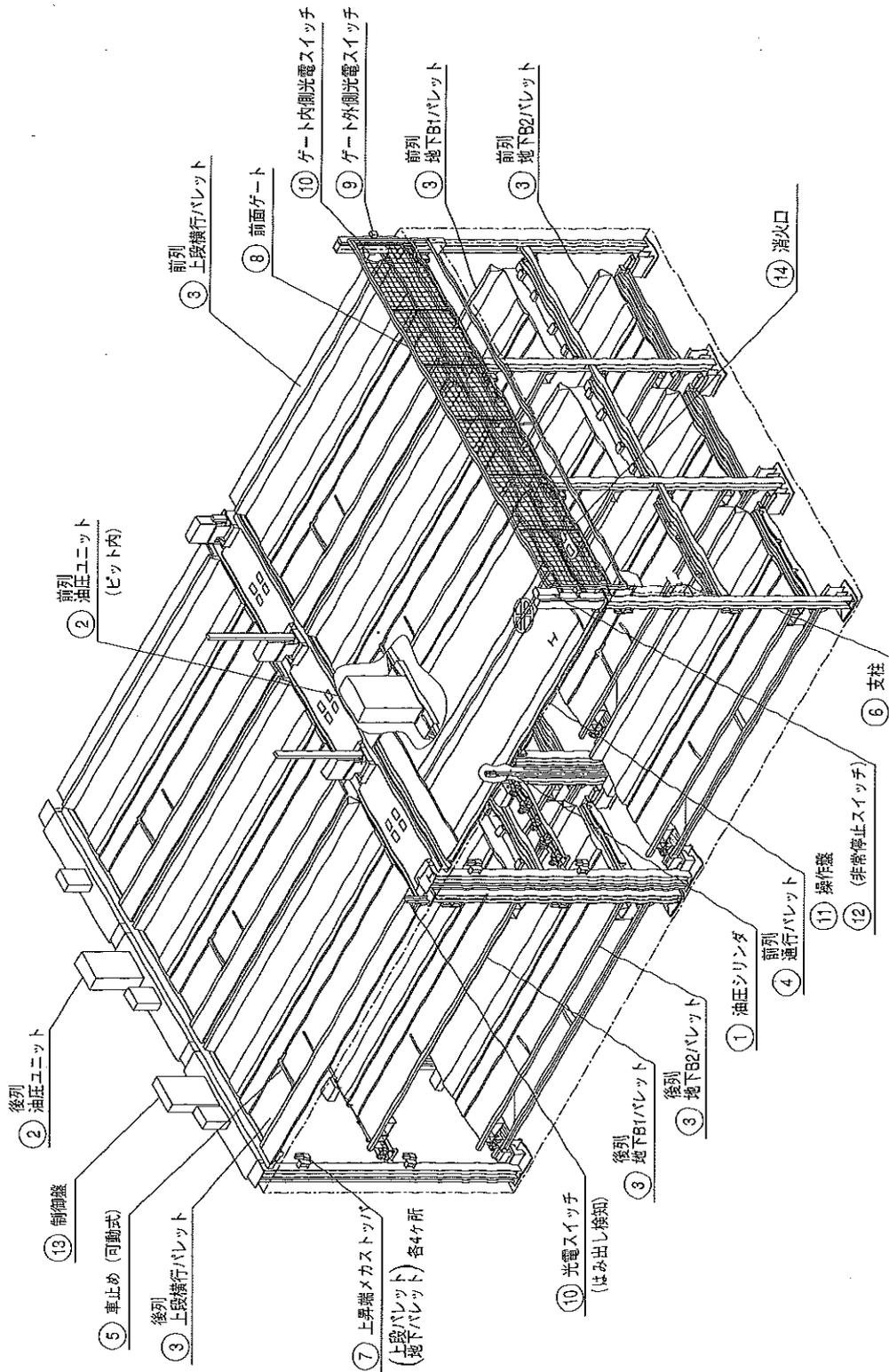


絵表示の中の⊘記号は、禁止行為であることを告げるものです。
⊘の近くに具体的な禁止内容を表示しています。

いずれも安全にご使用いただくための重要な注意事項ですので、必ず守ってください。

外觀圖

地上1段地下2段昇降横行式 縦列式 (J12A)



■ 各部の名称と働き

本装置は、車を搭載するパレット、装置を支える支柱、パレットを昇降・横行させる駆動部(油圧ユニット、油圧バルブ、油圧シリンダ、チェーン、横行モータ)、及び制御部で構成されています。各部は、下記のような働きをします。

名 称	働 き
①油圧シリンダ	油圧力をパレットを動かす力に変換し、パレットを上昇・下降させます。
②油圧ユニット	油圧ポンプが内蔵され、油圧シリンダに油圧力を供給します。
③パレット	車を駐車させる台で、横に動く上段横行パレット・上下、左右に動く地下パレット(B1、B2)があります。
④通行パレット	後列への立入り、および車を出し入れする通路として使用します。このパレットには車を駐停車しないで下さい。
⑤車止め(可動式)	パレット内の車両の停止位置を規定します。
⑥支柱	装置を支える柱です。
⑦上昇端メカストップ	上昇端で自動的にストップが出て、パレットの降下を防止します。 (上段、地下パレット用に設置)
⑧前面ゲート	装置作動中に人や車の侵入を防ぐため、装置正面にゲートを設けています。
⑨ゲート外側 光電スイッチ	装置またはゲート作動中にゲート外側の光電管スイッチが人や物等を検知すると、装置およびゲートは停止します。
⑩ゲート内側 光電スイッチ (はみ出し検知)	装置またはゲート作動中にゲート内側の光電管スイッチが車や物等を検知すると、装置およびゲートは停止します。
⑪操作盤	操作盤は、装置前面の支柱に取り付けられています。キーで電源を入れ、装置を操作することができます。
⑫非常停止スイッチ	装置に異常がある場合や、危険を感じた場合に押すと、装置の運転はただちに停止します。解除するときは、リセットスイッチを押してください。
⑬制御盤	装置を動かしたり、止めたりするのに必要な電装機器を収納しています。
⑭消火口	ピット内で火災が発生した場合に消火を行うための開口部を設けています。

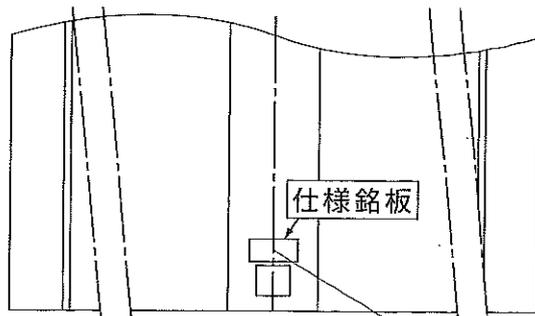
注) 名称の前の番号は、外観図に示す番号に対応します。

収容可能車の仕様

**駐車装置に収容できる車の大きさと
入庫する車の大きさを事前にお確かめください。**

(1) 駐車装置に収容できる車の大きさは？

- ご使用になる駐車装置に収容できる車の大きさは、装置に取り付けてある「搭載車両仕様銘板」に表示してあります。ご不明の際は駐車場管理者にお問い合わせください。



〈パレット前側〉

※「仕様銘板」は各パレットの手前側に表示しています。

〇〇タイプ	〇〇〇〇〇〇〇〇
全長	: 〇〇〇〇mm以下
全幅	: 〇〇〇〇mm以下
全高	: 〇〇〇〇mm以下
搭載最大重量	: 〇〇〇〇kg

⚠ 注意

- 「搭載車両仕様銘板」に表示している仕様を超えた車を入庫しないでください。
- 仕様を超えた車を入庫した場合、車や装置の破損、および事故や故障につながるおそれがあります。

(2) あなたの車の大きさは？

- 入庫する車の大きさを車検証でご確認ください。

自動車検査証

自動車登録番号又は車両番号／…	登録年月日／	初年登録	自動車の種別	用途	自家用・事業用	車体の形状			
ナンバープレート	平成 〇年〇月〇〇日	平成 〇年〇月	普通	乗用	〇〇用	〇〇型			
車名	型式	乗車定員	最大積載量	車両重量	車両総重量				
メーカー名	〇-〇〇〇〇	〇人	kg	〇〇〇〇kg	〇〇〇〇kg				
車台番号	原動機の型式	長さ	幅	高さ	総排気	燃料の種	型式指定	県別区	
〇〇〇-〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇cm	〇〇〇cm	〇〇〇cm	kW	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇

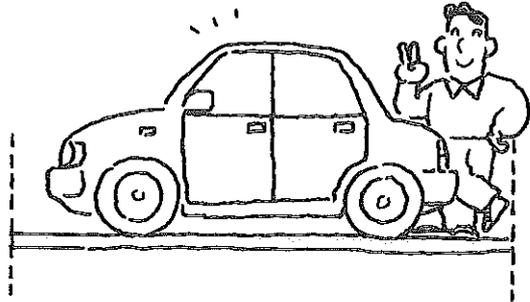
- 車検証にある「長さ」「幅」「高さ」が仕様銘板の寸法内であることを確認してください。
- 車検証にある「車両重量」と荷物・付属品等積載物の重量を合わせた重量が、仕様銘板の搭載最大重量以下になるようにしてください。(例ゴルフバッグ一式約10kg)

入庫する車が収容できるかどうか、実車にてご確認ください。

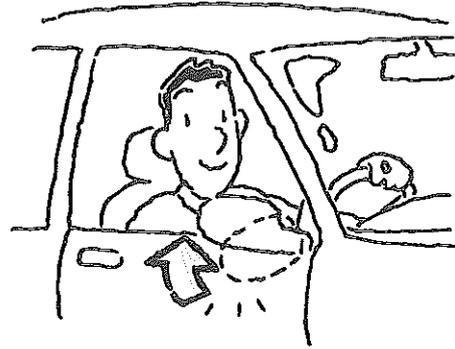
ご使用上の注意

△注意

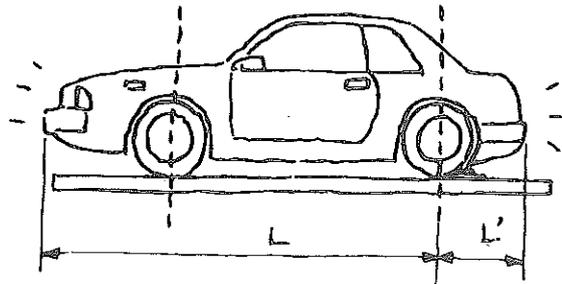
- 仕様銘板の表示寸法内であっても搭載できない場合があります。後輪を車止めに当てて停止し、車の前後左右がパレットからはみ出していないことをご確認ください。



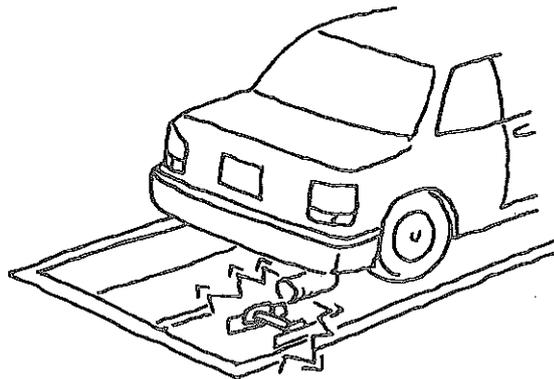
- 仕様銘板の表示寸法内であっても、入庫時、ドアミラーは支柱などに当たるおそれがあるので、必ず折りたたんでください。
ドアミラーを折りたたまない場合は、当たらないよう十分注意して入出庫してください。



- 仕様銘板の表示寸法内であっても、車種によっては、ボディオーバーハング(L・L')の違いにより搭載できない場合があります。



- 最低地上高の低い車は、車止めにマフラーがぶつからないよう注意してください。車止めの高さは10cmです。

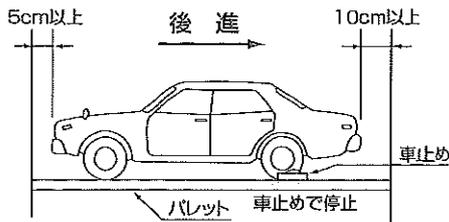


車止め位置変更のしかた

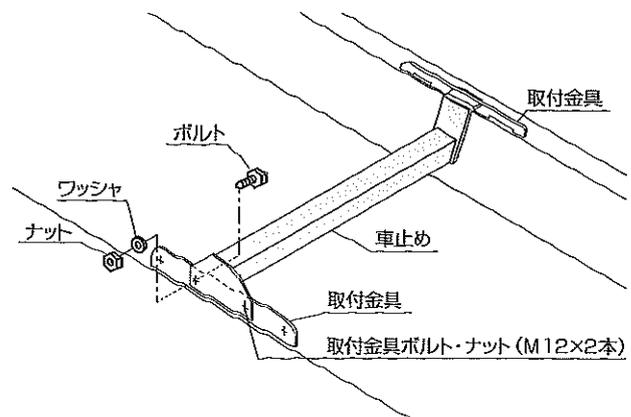
- この装置の車止めは可動式となっています。車全長が搭載車両仕様内であっても車の一部がパレットからはみ出す場合は、車止めの位置を変更することができ、搭載できる場合があります。車止めの位置変更は、次の1～4の手順でおこなってください。
- 車の買換えなどにより、別の車を入庫させるときには、再度車が正しい位置に駐車できるかどうかを確認し、必要に応じ、車止めの位置変更を行ってください。

1 (車をパレットに乗り入れ、車止めに当たる位置で止め、車止めを動かす方向・寸法を確認してください。)

- 停止位置はパレット先端より5cm、後端より10cm以上車が離れている位置が標準です。
- 車止めは10cm間隔で、3ヶ所の位置での固定が可能です。



2 (車をパレットから降ろし、取付ボルト・ナットをゆるめ、車止めを外してください。)



3 (車止めを新しい位置に移し、取付ボルト・ナットで確実に固定してください。)

⚠ 注意

- 車止めが取付金具に確実に固定されていることを必ずご確認ください。固定が不十分な場合、使用している間に車止めが外れ、車が破損するおそれがあります。

4 (車をパレットに乗り入れ、車止めに当たる位置で止め、車の前後がパレットからはみ出していないことを確かめてください。)

※車止めの位置変更をご依頼の際は、緊急連絡先へご連絡願います。(有料)

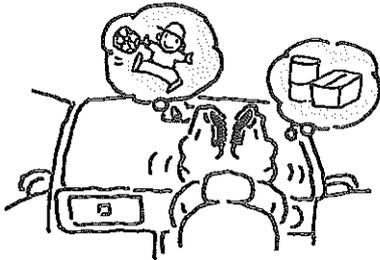
■ ご使用上の注意 (各部名称は外観図 (P.1) をご参照ください。)

(1) 車の入庫前に

⚠ 警告

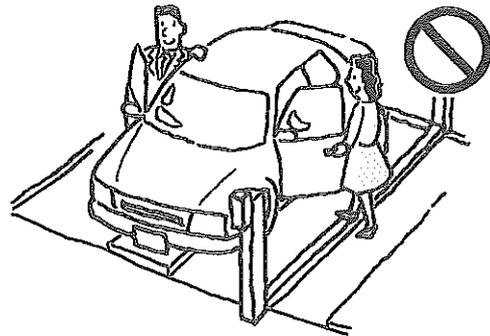
○車の入出庫および装置の操作時には周囲の安全を十分確認してください。

●装置内・ピット内に人がいないこと、障害物等がないことを必ず確認してください。特に前面ゲートが開いている場合には、他の人が装置内にいることが考えられますので、よく確認してから操作してください。



○同乗者の乗降、荷物の積み降ろし等は、必ず装置外で行う。

●装置内への立ち入りは、運転者のみとしてください。

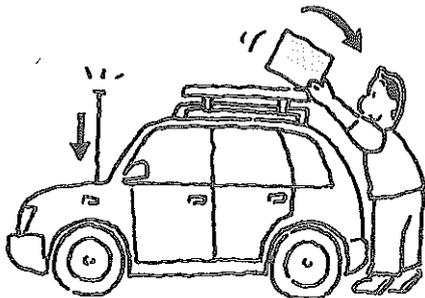


⚠ 注意

○車高は仕様銘板の寸法以下にする。
アンテナを下げ、ルーフキャリアや荷物等の高さにも注意する。

●仕様銘板に表示されている「全高」は、車の高さとしてルーフキャリア・荷物等を含む最大の高さです。

●車高が仕様銘板の寸法を超えると、装置または天井・梁等に当たり、車や積載物を破損するおそれがあります。



○決められたパレットに入庫する

●入庫前にパレット番号をよく確認し、必ず決められたパレットに入庫してください。

●他の人の車は入庫させないでください。

○総重量が仕様銘板に表示されている重量を超える車は載せない。



●総重量は車の重量と荷物・付属品等の重量を合わせた重量です。

●総重量が許容値を超えると、安全装置が働き、上昇・横行速度が遅くなるか、上昇・横行しなくなります。

この場合でも下降操作は可能ですのでご注意ください。(下段に下がったパレットが上昇できなくなります。)

ご使用上の注意 (各部名称は外観図 (P.1) をご参照ください。)

(2) 車を入出庫するとき

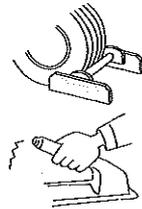
※1 安全装置が作動し、ゲートが下降途中で停止している場合があります。(アラームが鳴ります。)この場合はリセットボタンを押し、周囲の安全を確認の上で、もういちどゲート下降ボタンを押してください。

ゲートが完全に開いていることを確認してください。※1

後進で車をパレット上に静かに乗り入れてください。

タイヤをパレット後部の車止めで停止させてください。

エンジンを止め必ずサイドブレーキをかけてください。

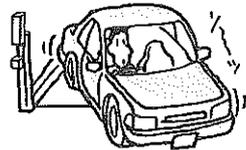


警告

- 装置内の車への乗降の際、足元には充分注意をする。
- 入出庫時、ゲートが下がりきっていることを確認してください。
- ゲートが下がりきらない状態で車が通るとゲートを破損します。
下がりきっていない場合は「リセット」押しボタンを押して再びゲート下降操作を行なってください。

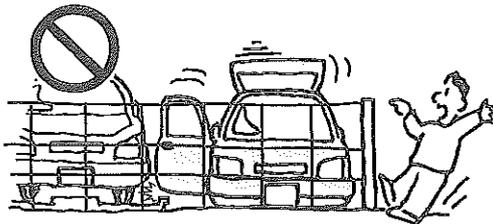
- 運転はゆっくり慎重に。

- 入出庫時は急発進・急停車・急ハンドル操作をしないでください。車や装置を破損するおそれがあります。
特に出庫時の急発進は、周りの人や車に接触するおそれがあり、大変危険ですので、おやめください。



注意

- 車のトランク・ドアを確実に閉める。
- ドア・トランクが開いていたり半ドアの場合、昇降・横行時に装置または隣の車に当たり、破損するおそれがあります。



- 車は後進入庫
- 前進入庫した場合、車がパレットからはみ出し、昇降・横行時に破損するおそれがあります。

- 入出庫時、車から手や顔を出さない。
ドアを開けたまま運転しない。

- 入出庫時に車から手や顔を出して運転すると、支柱等にぶつかったり、挟まれるおそれがあり、危険です。
また、後方を確認するため、ドアを開けたままバックすることも危険ですので、おやめください。



△注意

○ドアミラーに注意。

入出庫時には折りたたむ。

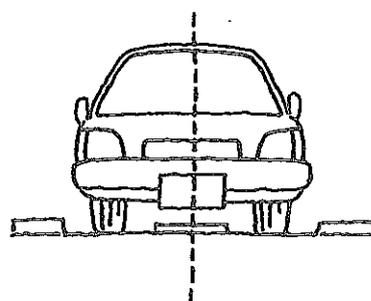
- 入出庫時にはドアミラーが支柱等に当たらないよう必ず折りたたんでください。
- ドアミラーを折りたたまない場合は、当たらないよう十分注意して入出庫してください。
(入庫後は、必ず折りたたんでください。)



○入庫時にはパレットの中央に

まっすぐ駐車。

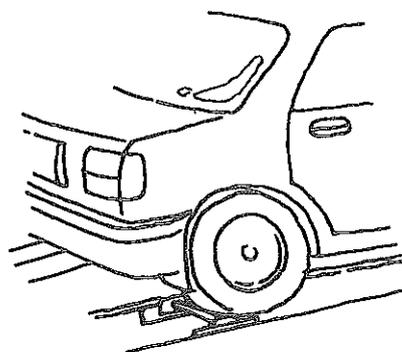
- 車が片側に寄りすぎたり、斜めになっていると、車や装置を破損するおそれがあります。



○入庫時にはタイヤを

車止めで停止させる。

- 車止めより前に止めたり、車止めを乗り越えて止めた場合、車がパレットからはみ出し、装置に接触したり、パレットから落下するおそれがあります。
またゲート内側光電スイッチが作動し、装置が動かなくなることがあります。



○エンジンを止め、

必ずサイドブレーキをかける。

- サイドブレーキが十分効いていない場合、車が移動して装置に接触したり、パレットから落下するおそれがあります。
- オートマチック車は、シフトレバーをⓐ(パーキング)にしてください。マニュアル車は、ローかバックに入れてください。



○通行パレットは駐停車禁止。

- 通行パレットは後列への出入り専用のパレットです。通行パレット上に車を駐停車したり、物を放置したまま装置を運転すると、車や装置の破損、および事故や故障につながるおそれがあります。

ご使用上の注意

(3) 装置を操作するとき (ゲート開閉時・昇降操作時)

車(特にミラー・バンパー等)が、パレット有効幅からはみ出していないことを確認してください。

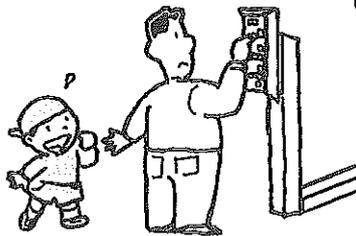
入出庫後は前面ゲートを上昇端定位置まで上げてください。

操作完了後、キーは必ず抜き取り保管してください。
操作盤のカバーを閉じてください。

警告

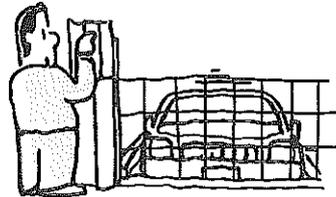
○操作は運転者自身が行う。

- 安全管理上、操作は運転者自身が行ってください。お子様には絶対に操作させないでください。

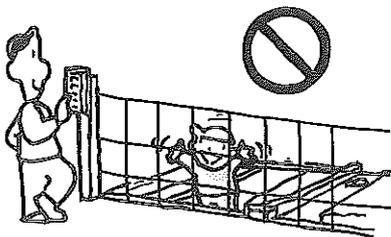


○装置運転中は操作盤から離れない。

- この装置の非常停止ボタンは操作盤に取り付けられています。万一の場合に備え、いつでも非常停止できるように、操作中は操作盤から離れないでください。



○パレットまたは車内に人が乗ったままでの操作は行わない。

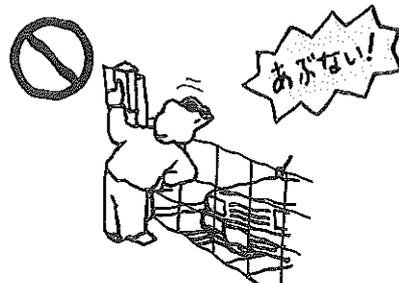
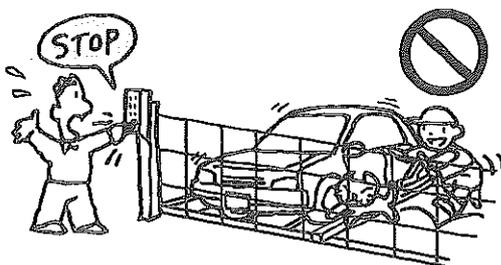


○装置内のぞき込み禁止。

- 装置運転中に前面ゲートや柵を越えて装置内のぞき込まないでください。ゲートやパレットに挟まれるおそれがあります。

○操作時には必ず周囲の安全確認を。

- 操作中は装置および周辺に注意し、人や動物・物等が近づいてきた場合は、すぐに非常停止ボタンを押し、装置を停止させてください。



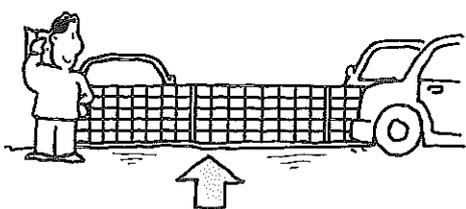
安全装置

ゲート外側光電スイッチ：装置作動中に装置前側の光電管スイッチが人や物等を検知すると、装置は停止します。

警告

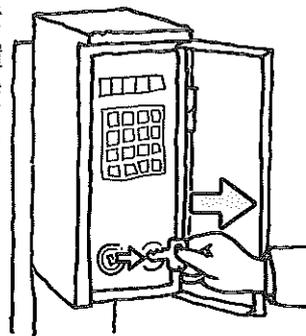
○入出庫終了後は前面ゲートを
上昇端定位置に。

●前面ゲートを開けたままにしておくと、装置内に他の人が入るおそれがあり大変危険です。



○操作完了後、キーを抜き取り、保管。

●安全管理上、キーを差し込んだまま装置から離れないでください。又、いたずら等を防止するため、キーの保管場所にご注意ください。



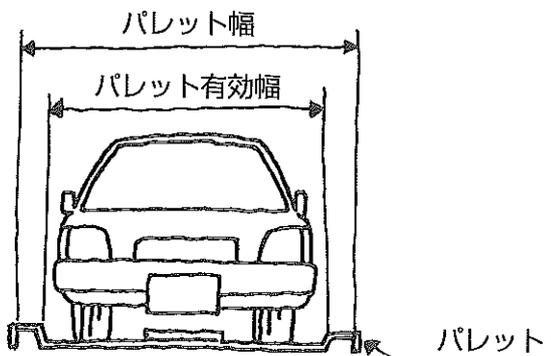
○運転中に異常が発生したり装置の柱等に変形・損傷等がある場合は、運転を中止。

●直ちに緊急連絡先にご連絡ください。

注意

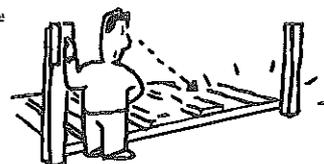
○車がパレット有効幅からはみ出していないことを確認。(下図参照)

●車の一部でもパレット有効幅からはみ出している場合、装置または他の車と当たり、破損するおそれがあります。ドアミラーは折りたたみ、バンパー等がはみ出していないか、注意して見てください。



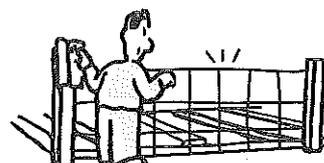
○前面ゲート上昇・下降操作の前に、パレットが定位置で停止していることを確認。

●パレット動作中は、ゲートの上昇・下降操作をしてもゲートは動きません。



○パレット操作の前に、前面ゲートが上昇端定位置にあることを確認。

●ゲートが上昇端定位置にないと装置は作動しません。



安全装置

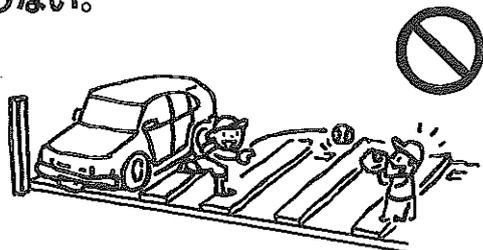
前面ゲートインターロック装置：前面ゲートが上昇端定位置にない場合、装置全体の操作ができなくなります。
パレット停止位置によるインターロック：パレットが定位置にない場合には、前面ゲートは動きません。

ご使用上の注意

安全にご使用いただくために(装置を安全にご使用いただくために日常注意していただきたいことから)

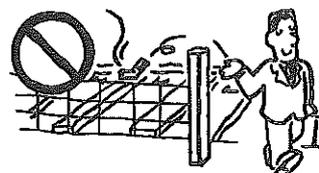
警告

○装置内および周囲を、子供の遊び場にしない。



○装置内は火気厳禁

●特にタバコ等のポイ捨て、消し忘れは火災の原因となりますのでご注意ください。



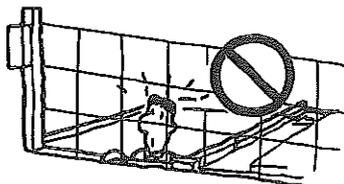
●万一、火災が発生した場合は、装置を動かさず、直ちに緊急連絡先にご連絡ください。小さな火災であっても、消火後、必ず装置の点検を受けてください。

●また日頃から、消火設備および使用方法を確認しておいてください。

○ピット内は立入禁止

●ピット内は危険ですので絶対に入らないでください。

●ピット内に物を落としたりした場合に緊急連絡先に連絡してください。



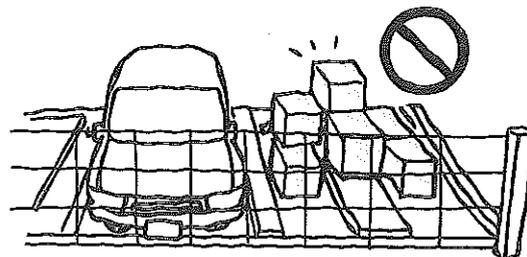
○ゲートには乗らない

●ゲートの上に乗ったり、もたれかかることは、危険ですのでおやめください。

注意

○装置に乗用車以外を載せない。

●装置にバイク・自転車・荷物等をのせないでください。転倒・落下等により、装置の破損・誤作動・故障の原因となります。



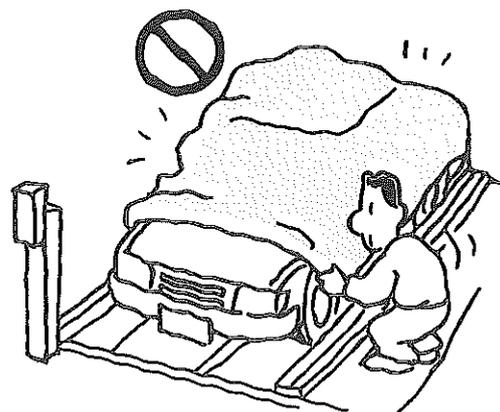
○駐車以外の目的で使用しない。

●装置を物置き・植木置き場等にしないでください。物が落下したり、挟み込まれることにより、他の車や装置の破損、誤作動・故障の原因となります。

●また、装置内での車の点検・洗車・休息等、駐車以外の目的で利用することはおやめください。

○ボディカバーは使用しない。

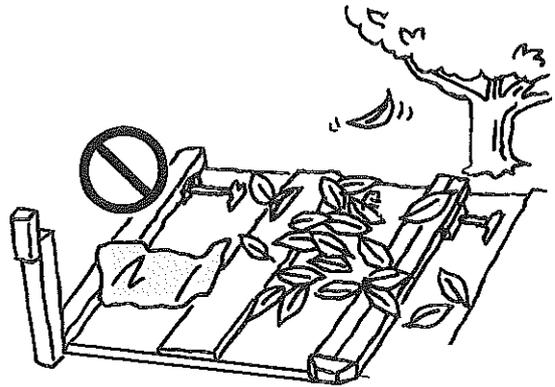
●車のボディカバーが外れた場合、装置作動時の障害物となり、誤作動・故障につながるおそれがあります。ボディカバーは使用しないでください。



△注意

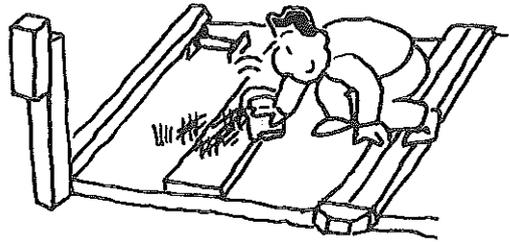
○落ち葉・ビニール袋を取り除く。

- 落ち葉・ビニール袋等のゴミは、装置作動時の障害物となり、誤作動・故障につながるおそれがあります。装置使用時には装置内および周辺を必ず点検し、取り除いてください。



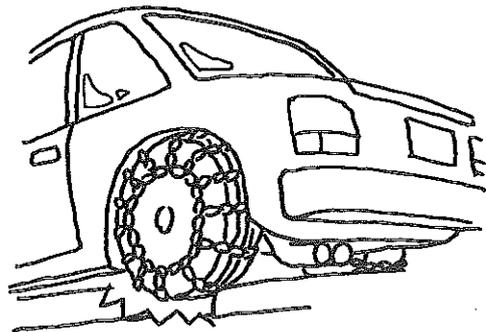
○パレット上の汚れはこまめに清掃を。

- パレット上にエンジンオイル・泥水等による汚れがついたら、すぐに拭き取ってください。



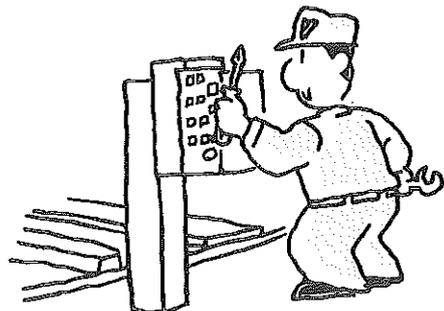
○スパイクタイヤ・タイヤチェーンでの乗り込み禁止。

- スパイクタイヤやタイヤチェーンは、パレットの錆や傷、または騒音の原因となりますので、装置内では使用しないでください。



○点検・修理は、専門のサービスマンに。

- お客様ご自身による日常点検以外の点検・修理は行わないでください。品質・機能の低下を招いたり、故障や事故につながるおそれがあります。必ず専門のサービスマンにお任せください。



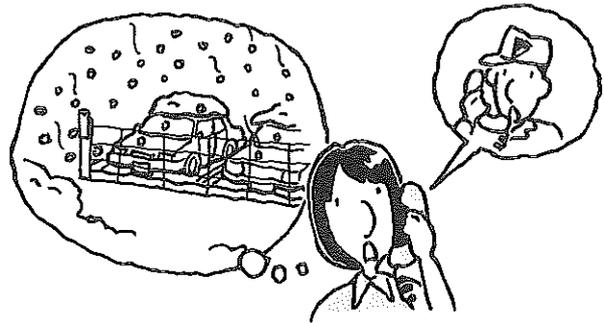
■ ご使用上の注意

悪天候・天災発生時

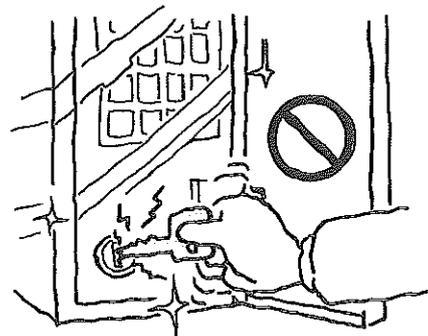
⚠ 注意

■ 積雪・凍結時は…

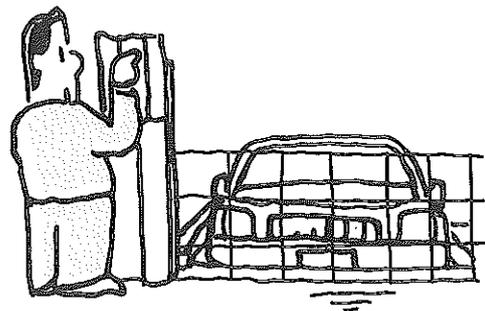
- 故障・誤作動のおそれがあります。
装置の運転前に必ず緊急連絡先に連絡し、係員の指示があるまで装置を動かさないでください。



- 凍結時にはキー付スイッチが入りにくい場合がありますので、無理に差し込んで回したりしないでください。
凍結によりキー付スイッチが差し込めない場合、装置は使用できません。



- 操作中はいつでも非常停止できるように、操作盤から離れないでください。
- 異常が起きたときにはすぐに運転を中止し、緊急連絡先に連絡し、係員の指示があるまでは装置を動かさないでください。



積雪時・凍結時の異常とは…

- 横行パレット用レールが凍結し、横行パレットがスリップする。
- 上昇端メカストップが凍結し、下段昇降パレットが動かない。
- 安全装置が正常にはたらかず、横行パレットが移動途中で停止した状態で、昇降パレットが動き、車や装置を破損する。
- ゲートチェーンが凍結し、異音が発生したり、装置を破損する。

などがあります。

⚠ 注意

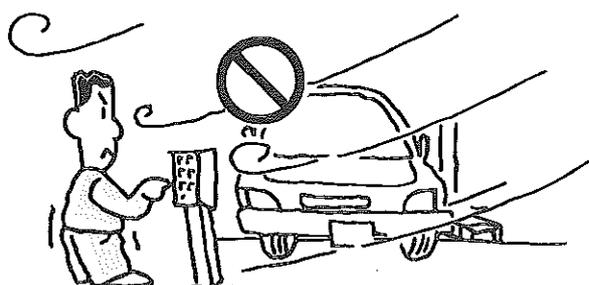
■ 豪雨によりピット内に浸水のおそれがある場合…

- ピット内から車を退避させておいてください。
- 浸水したときには、緊急連絡先に連絡し、係員の指示があるまでは装置を動かさないでください。



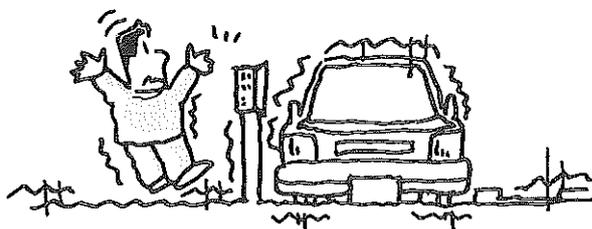
■ 強風時は…

- 車が落下したり、破損するおそれがあり、危険です。操作しないでください。



■ 地震の時は…

- 地震発生時には、操作しないでください。操作中に地震を感じたら、すぐに操作を中止してください。また、大きな地震の後には必ず点検を受け、異常がないことを確認してから、操作してください。



操作盤

各スイッチの機能説明

① 電源スイッチ

- ・キーを差し込み「入」へ切り換えると操作可能となります。「切」に切り換えると操作はできません。
- ・ゲートが上昇端位置でないときは、キーを抜くことはできません。

② パレット番号指定キー

- ・呼び出したいパレット番号を押します。押された番号は「状態表示用LED」に表示されます。キャンセルするときは、「リセット」ボタンを押してください。

◆次の場合には、この押しボタンは受付られません。
非常停止中、出庫動作中、ゲートが上昇端位置でないとき。

③ 「出庫」押しボタン

- ・呼び出したいパレット番号を指定した後、「出庫」ボタンを押せば、入出庫するパレットが自動的に地上面(上段位置)に移動します。動作中はパレット番号が点滅表示します。
- ・ゲートを下げる前には、必ず「出庫」操作を行ってください。
- ・出庫動作中に停止させるときは、「非常停止」ボタンを押してください。

④ 「▲」押しボタン (ゲート上昇)

- ・「▲」ボタンを押せばゲートを上昇します。
- ・上昇動作中に停止させるときは、「非常停止」ボタンを押してください。

◆次の場合には、この押しボタンは受付られません。
非常停止中、ゲート内側光電スイッチ作動中、ゲート外側光電スイッチ作動中。

⑤ 「▼」押しボタン (ゲート下降)

- ・パレット呼び出し完了後「▼」ボタンを押してゲートを下降します。
- ・パレット呼び出し完了時には、ブザーが3回鳴り(ピッピッピ)「▼」ボタン上のランプが点滅します。
- ・下降動作中に停止させるときは、「非常停止」ボタンを押してください。

◆次の場合には、この押しボタンは受付られません。
非常停止中、出庫動作中、パレット位置異常。

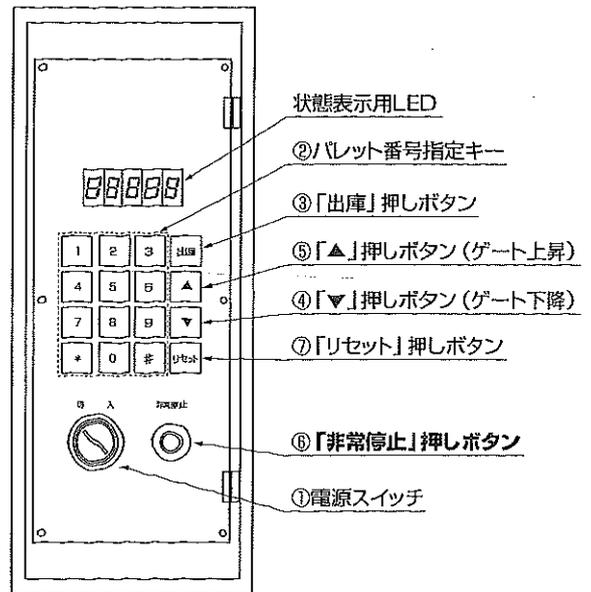
⑥ 「非常停止」押しボタン

- ・「非常停止」ボタンを押せば、パレットの昇降・横行、ゲートの昇降は非常停止し、アラームが鳴ります。
- ・解除するときには、「リセット」ボタンを押してください。

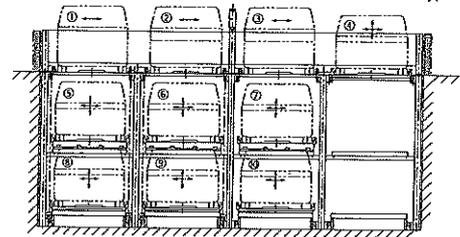
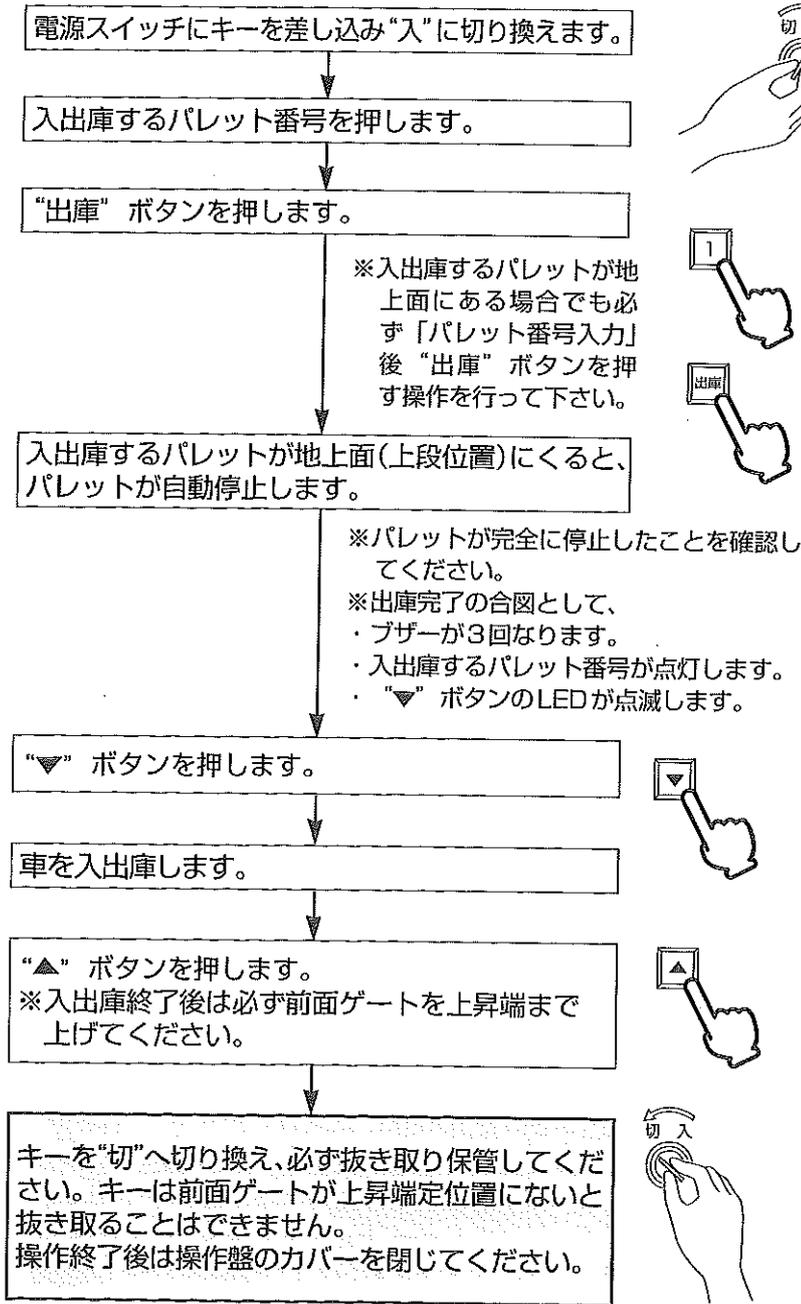
⑦ 「リセット」押しボタン

- ・「リセット」ボタンを押せばアラーム音は止まります。
- ・異常原因については、状態表示用LEDを見て、必要な処置をとってください。表示内容についての説明は、操作盤カバーの裏側に記載しています。(P-18~19参照)

操作盤



操作手順



①②③のパレットは横行、
 ④⑤⑥⑦⑧⑨⑩パレットは昇降横行します。

注意

入出庫時、ゲートが下がりきらない状態で車を通るとゲートを破損します。下がりきっていない場合は「リセット」押しボタンを押して、再び「▼」ボタンを押してください。

警告

ゲートを開けたままにしておくと、装置内に他の人が入るおそれがあり大変危険です。

キーは必ず保管

非常停止	操作中に万一異常が発生した場合や危険を感じた時は、非常停止ボタンを押してください。作動中のパレットまたはゲートはその場で停止し、アラームが鳴ります。
非常停止解除	安全確認後、リセットボタンを押せばアラームが止まります。再度パレット呼び出し操作・ゲート操作を行ってください。
安全装置	<ul style="list-style-type: none"> ●装置作動中に装置前側の光電管スイッチが人や物等を検知すると、装置は停止し、アラームが鳴ります。 解除方法…装置前側の光電管スイッチを遮光している障害物を取り除きリセットボタンを押してください。 ●装置作動中に装置内側の光電管スイッチが人や車等を検知すると、装置は停止し、アラームが鳴ります。(このとき、装置は作動しません。) 解除方法…装置内側の光電管スイッチを遮光している障害物を取り除いてください。

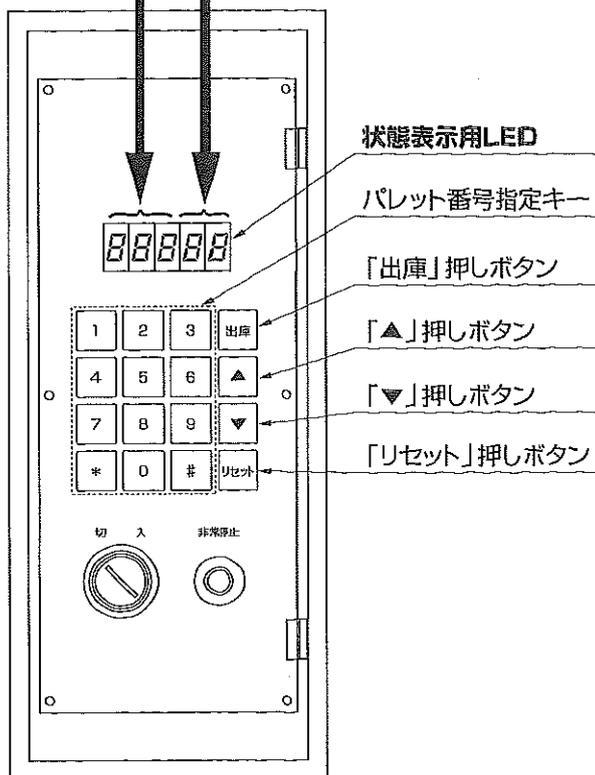
■ トラブル状況と対処方法

操作中に、装置が動かなくなったときは、まず操作盤の状態表示用LEDに表示されている記号を確認してください。

上位3桁には、
トラブルが発生している
パレットの番号が
点滅表示されます。

下2桁にはトラブルの状況を示す記号が**点灯表示**されます。(P18、19参照)
下記の記号が**点灯表示**している場合は、
お客様ご自身で対処していただくこと
により、再操作できます。

00 01 02 06



トラブル発生時のお願い

トラブルが発生し、連絡または救援を求めるために装置から一時的に離れる場合は、万一他の方が使用されて事故とならない様に、故障中で操作できない旨表示し、キーを抜いてから離れてください。
(故障、非常停止状況によってはキーが抜けない場合があります)

トラブル発生時には、次の要領で対処してください。

下2桁表示	内容・原因	対処方法
00	非常停止押しボタンが押された。	<p>リセットボタンを押してください。</p> <pre> ↓ ┌───┴───┐ │ 0点滅 │ │ 0点滅しない │ │ ↓ │ │ ↓ │ │ 操作 │ │ 点灯している記号に │ │ できます。 │ │ 合わせて対処してください。 │ └───┬───┘ </pre>
	<p>車の入庫時 入庫した車の前方がはみ出し、ゲート内側光電スイッチが作動した。</p>	<p>はみ出している車を車止めの位置までバックさせてください。</p> <p>↓</p> <p>ゲートを上昇してください。</p> <p>↓</p> <p>0点滅</p> <p>↓</p> <p>操作できます。</p>
01	<p>装置作動時 下段パレットの下降途中、車のはみ出しによりゲート内側光電スイッチが作動した。 (パレットが途中で停止している。)</p>	<p>リセットボタンを押してください。</p> <p>↓</p> <p>途中で停止したパレット番号を押してください。</p> <p>↓</p> <p>「出庫」ボタンを押してください。</p> <p>↓</p> <p>停止したパレット上の車を出庫させるか、車止めの位置までバックさせてください。</p> <p>↓</p> <p>ゲートを上昇してください。</p> <p>↓</p> <p>操作できます。</p>
02	<p>装置作動中に人等が装置に近づくことにより、装置前側のゲート外側光電スイッチが作動した。</p>	<p>装置から離れてください。 (装置周辺に障害物があれば、取り除いてください)</p> <p>↓</p> <p>リセットボタンを押してください。</p> <p>↓</p> <p>点灯している記号に合わせて対処してください。</p>
03	<p>下降時にフック解除されない</p>	<p>緊急連絡先に連絡してください。</p>
04	<p>上昇端でフックがかからない</p>	
05	<p>ゲート上昇端位置検出の異常</p>	
06	<p>ゲート下降端位置検出の異常</p>	
07	<p>油圧モータ過負荷</p>	

■ トラブル状況と対処方法

トラブル発生時には、次の要領で対処してください。

下2桁表示	内容・原因	対処方法
08	横行モータ過負荷	緊急連絡先に連絡してください。
09	ゲートモータ過負荷	
0A	シャットオフ弁異常	
0b (ピ)	パレットまたはゲートの停止位置が定位置ではない。	リセットボタンを押してください。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>表示器の上2桁が 数字2桁 を表示している。</p> <p>↓</p> <p>パレットの出庫操作を 行ってください。</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>表示器の上位2桁が (数字)ー を表示している。</p> <p>↓</p> <p>ゲート操作を 行ってください。</p> </div> </div>
0C	上昇時タイムオーバー	緊急連絡先に連絡してください。
0d	下降時タイムオーバー	
0E	横行時タイムオーバー	
10	上昇タイムレス	
11	下降タイムレス	
12	横行タイムレス	
13	昇降速度・センサ異常	
14	ゲートブレーキ異常	
15	パレット側面異常	
94	未登録パレット番号	
95	登録パレット番号重複	緊急連絡先に連絡してください。
96	インバータ異常	
97	操作盤通信異常	
98	サブパネル通信異常	
99	EEPROM異常	

※緊急連絡先に連絡されるときには、操作盤の状態表示用LEDの記号を確認の上、お知らせください。

■ 日常点検

安全に末永く使用していただくために、下記の日常点検を行いましょう。

○装置および装置周囲の清掃

落ち葉やビニール袋等のゴミが、ピット内に入らないよう清掃を行ってください。

○塗装の補修

傷や錆の発生した箇所は補修塗装を行ってください。

○積雪時の除雪

装置や搭載車への積雪は誤動作の原因となります。完全に除雪するか運転を中止してください。

○運転時の装置の状態

音、振動などがいつもと異なる場合は、運転を中止して駐車場管理者に連絡してください。

■ 保証

取扱説明書・本体貼付銘板等の注意書にしたがった正常な使用状況で故障した場合にはお引渡し日より保証書記載の保証期間の間は無償修理いたします。

但し、保証期間内でも次の場合は有償修理・作業となりますのでご了承ください。

- ①お客さまのご使用の誤り、適切な維持管理を行わなかったことに起因する故障および損傷
- ②取扱説明書・本体貼付銘板等で禁止している事項を原因とする故障および損傷
- ③お客さま自身による修理、改造に起因する故障および損傷
- ④火災・地震・風水害・落雷その他天災地変等による故障および損傷
- ⑤お引渡し後の据付け場所の移動等による故障および損傷
- ⑥お客さまの責任により発生した装置異常等の復旧作業

※その他詳細は、お引渡し時に提出する保証書により確認してください。

緊急連絡先

万一異常が発生した場合には運転を中止し、直ちに緊急連絡先にご連絡ください。お客様ご自身での点検や修理は危険があるだけでなく、品質・機能の低下を招いたり、故障や事故につながるおそれがあります。

緊急連絡先は操作盤付近の銘板をご覧ください。